（松本地域）

令和７年度　地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	ぐるっと巡ろう！塩尻・山形・朝日サイクルツーリズム推進事業
事業主体 （連絡先）	ぐるっと巡ろう！塩尻・山形・朝日サイクルツーリズム推進協議会 （0263-52-0886）
事業区分	（６）産業振興、雇用拡大に関する事業　　ア　特色ある観光地づくり
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	6,367,380 円（うち支援金：4,928,000 円）

事 業 内 容

主要な交通結節点である塩尻駅・広丘駅のキャパシティ不足の課題に対し、新たに「塩尻駅西口」及び「広丘駅東口」へ新ステーションを設置した。

サイクリング及びＥカーに対する認知度向上及びゼロカーボンに向けた取り組みとして、ロゲイニングイベントを実施した。

過年度実施してきた MAP 作成事業の成果として、３市村を巡る紙媒体の広域マップを作成した。

地域人材の活用・発掘として、サイクルを用いた移住者との交流イベントや地域を巡る周遊ツアーを開催した。

【サイクルロゲイニング】

【目標・ねらい】

①認知度向上
②収益性向上
③地域人材の活用・発掘
④ゼロカーボンへの取り組み

事 業 効 果

① Hello Cycling の利用回数が伸びていることから、イベントの実施とこれに併せた広報活動により認知度が向上したと伺える。
② Hello Cycling の利用回数は年々伸びており、収益性も向上している。
③ サイクルを用いた３市村の地域に住む人と移住者との交流や周遊ツアーを通して、地域のガイドの活用や訪れた先での出会いによる人材発掘につながるものとして有用であった。
④ サイクルやＥカーによるイベントを通して、これまでサイクルやＥカーに興味がなかった人にも知ってもらう機会を作れたことは、ゼロカーボンへの取り組みとして有用であった。

※自己評価【　Ａ　】

【理由】
シェアサイクリング運用の売上において、最盛期 8～10 月が設定目標に対し水準を上回る結果となった。
（設定目標 80,000 円/月）
（8 月：81,369 円、9 月：92,568 円
10 月：90,211 円）

今後の取り組み

今年度事業により収益性は向上したものの、収支においては未だ課題がある。

引き続き認知度向上に努めると共に、毎月の利用上を考慮した柔軟なステーション配置による運用の最適化を図っていく。

これまで地域人材の発掘や活用を通じた育成を試みてきた結果、地域人材との人脈を作ることができた。今後はその人脈をいかしたより効果的なイベントの実施を計画していきたい。

サイクリングを取り巻く情勢は変わりつつあるため、認知度向上だけではなく、その利用についても広報していくことも活動の１つとしていきたい。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。
「A」：予定を上回る効果が得られた　「B」：予定していた効果が得られた
「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある